

# 避難所における感染性胃腸炎の 集団発生

郡山市保健所

国立感染症研究所

国立感染症研究所

阿部孝一

実地疫学専門家養成コース

感染症情報センター

関屋紀貴

砂川富正

# 避難所(ビッグパレットふくしま)の概要

- 福島県郡山市にある4階建ての多目的イベントホール
- 福島県の指定管理者が運営（建設主体は福島県）。行政区分上は郡山市の管轄地域
- 3月18日、東京電力福島第一原子力発電所の避難勧告地域に含まれる富岡町、川内村から2500人が避難
- 4月19日現在、1678人が避難していたが、避難者名や年齢区分を明らかにした詳細な避難者名簿は存在しなかった

# 端緒

- 2011年4月8日，ビッグパレットふくしまの救護所で嘔吐，下痢を呈する受診者が増加，食中毒疑いとして郡山市保健所に届出あり
- 救護所で把握していた発症者38名中10名に聞き取り調査，便検査への協力依頼
- 届出前から消化器症状を有する患者が散発的にいたこと，吐物処理が適正でなかったこと，統一メニューの食事が提供されていたにも関わらず発症者が少なかったことから，食中毒と判断は出来ず感染症による可能性が高いと判断
- 4月15日，全体像の把握，感染拡大・再発防止を目的にFETPに支援依頼

# 症例定義

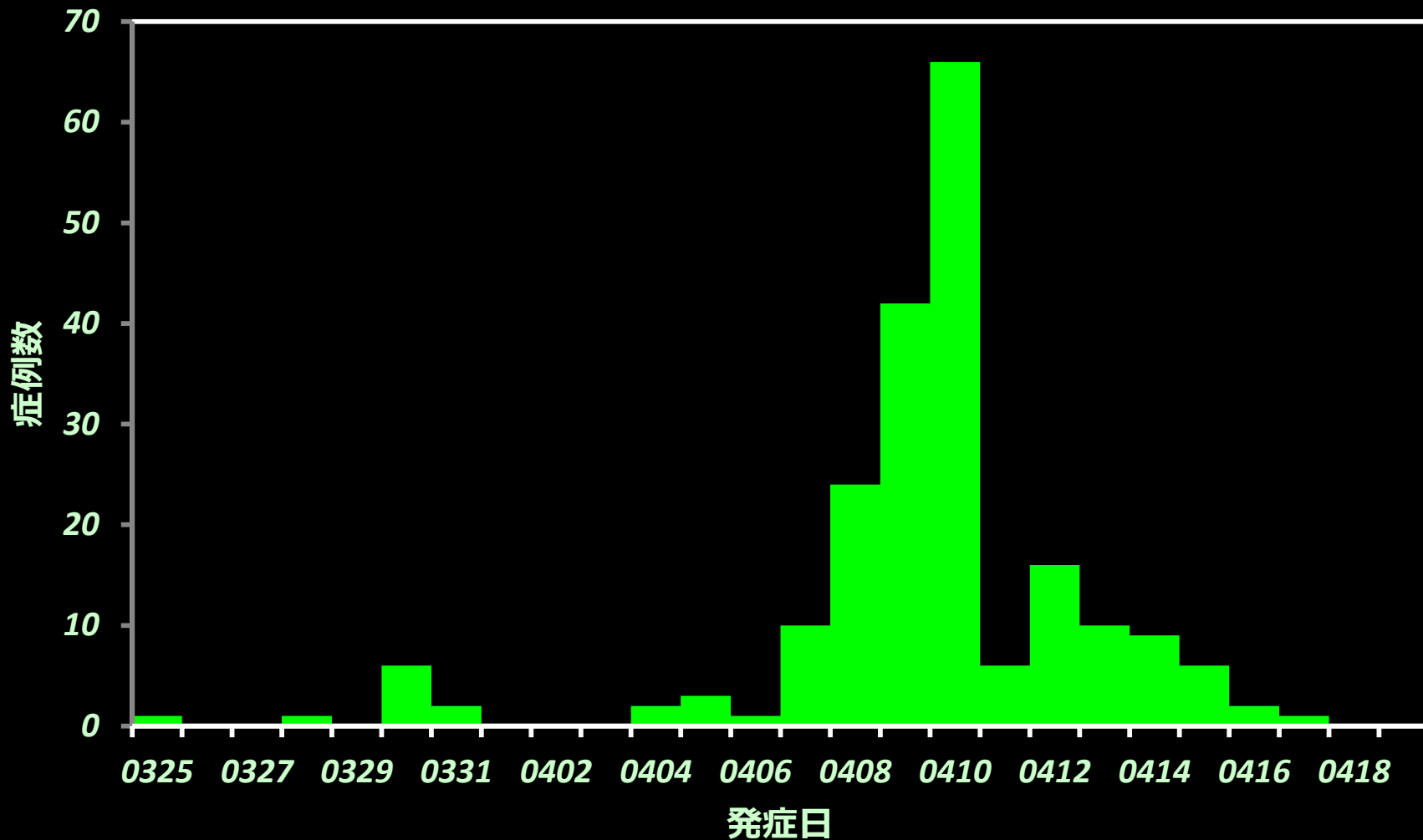
2011年3月25日以降にビッグパレットふくしま救護所を受診し、嘔吐または1回以上の下痢を有し、かつ、制吐薬または止瀉薬を処方された者

# 症例定義を満たした症例

- 2011年3月25日から4月19日まで
  - 症例定義を満たした症例：212例
  - 性別：男性110例（52%），女性102例（48%）
  - 年齢：中央値55歳（範囲：0-93歳）
- 症状：嘔吐134例（63%），下痢150例（71%）
- 医療機関搬送例（脱水など）：8例
- 重症例や死亡例なし
- 便検査：ノロウイルス（GⅡ/4）検出

# 流行曲線

(3/15-4/19,  
N=208)









# 調査結果のまとめ

- 流行曲線

3月30日増加（6例）後は一旦減少

4月7日増加（10例）後は階段状に増加

4月10日（66例）をピークに11日から急激に減少

4月16日～19日の4日間、発症例は2例以下

- 地理的分布

推定発症率：1F 10.6%，2F 12.0%，3F 8.2%

閉鎖的な空間（1F:コンベンションホール 2F:レ

ス

トラン 3F:中会議室）で感染拡大傾向

- ウイルスの塩基配列の分析結果

市内の流行株に感染した初発症例（特定できず）が

避難所に持ち込んだ可能性

# 集団発生の仮説

- 過密で、整理・整頓・清掃が不十分な居住環境
- 不十分な手指衛生
- 清掃されていないトイレ
- 洗面，洗濯を共用した洗面所



- 症例との接触感染，吐物で汚染した毛布やカーペットからの接触・空気感染，清掃が不十分なトイレからの接触感染による感染拡大が想定される

# 感染拡大防止策の実施状況



感染予防策



衛生対策

# 実施された公衆衛生対応 の時間経過

職員による適切な吐物、衣類処理

住民教育、受診勧奨

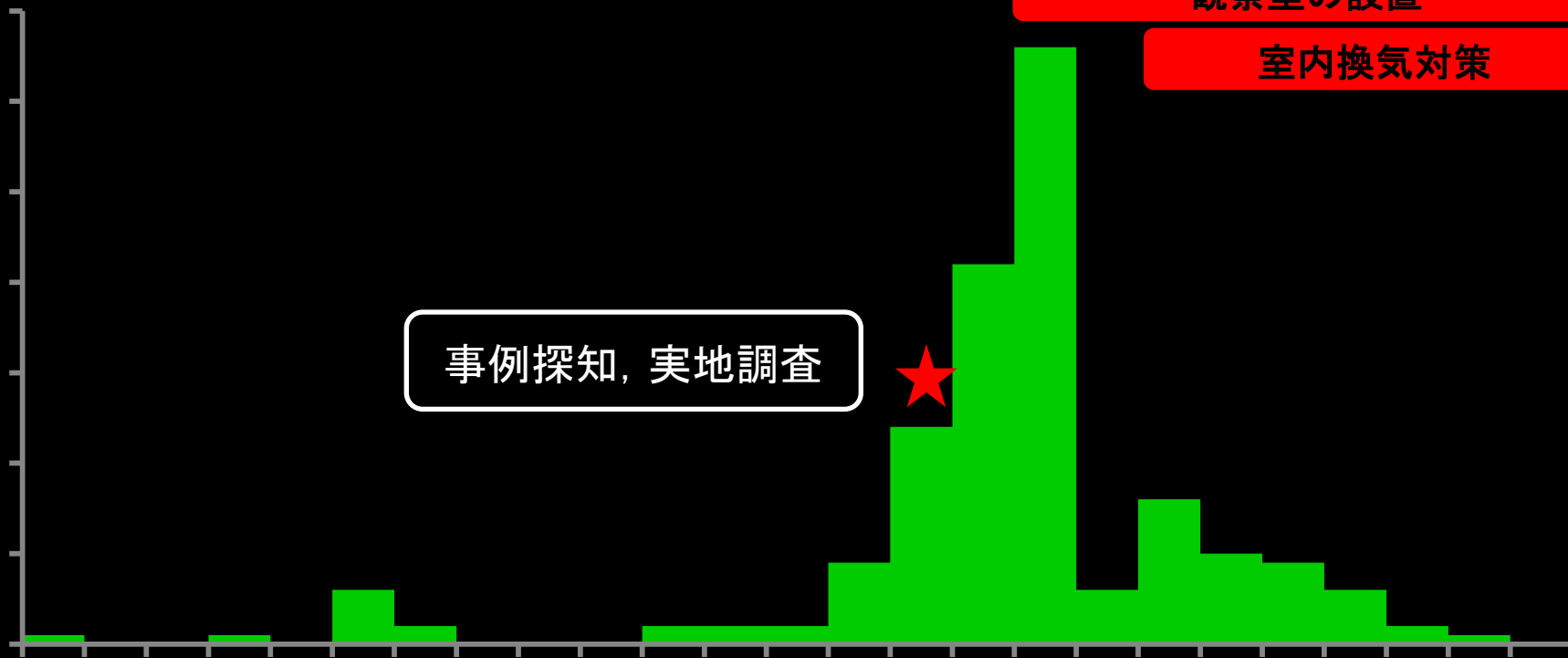
ハンドソープ、ペーパータオル、  
擦式手指アルコール剤設置

次亜塩素酸によるトイレ消毒

観察室の設置

室内換気対策

事例探知、実地調査



# 公衆衛生対応の評価

- ・ 流行閾値（本事例では2例/日以下）を超えた数の嘔吐・下痢症が発生した場合は速やかな対応が必要であり、サーベイランスが重要であることを再確認
- ・ 閉鎖的空間での感染拡大が見られたことから、各居住スペース出入口付近の住民が嘔吐した場合は感染拡大に注意
- ・ 衛生用品の管理体制の整備
- ・ 持ち込み食品の管理体制の整備
- ・ 居住環境の改善のため、換気、カーペット清掃、毛布管理について要検討